

地理データテンプレートの作成と使用



TNTmipsの空間エディタで編集用に直接開くことができるもののオブジェクトも、似たオブジェクトの作成に使用するテンプレートとして開いたり保存することができます。テンプレートオブジェクトはそれを作成したオブジェクトと同じジオリファレンスとデータベース構造を持ちますが、要素(図形テンプレートの場合)やセル値(ラスタテンプレートの場合)を持ちません。テンプレートは、それらを作成したオブジェクトと同じデータタイプです。例えば新規ベクタオブジェクトでは座標のタイプとトポロジレベルが同じで、新規ラスタオブジェクトではセルタイプが同じです(ビット深度、符号付き、符号なし、カラー合成など)。**[オブジェクト]** > **[外部ファイルを開く (Open External) (E00、カバレッジ、シェイプファイル)]** を使ってエディタで開いた現在編集可能な地理データはベクタのテンプレートとして保存することができます。編集用に直接開くことができる外部のCADファイル(DXF、DWG、DGN、TAB)は、プロジェクトファイル形式のCADオブジェクトとして保存することができます。

ラスタのテンプレートはコントラストテーブルやカラーマップ、編集・表示のパラメータサブオブジェクトを含んでおり、クラスタの場合はスタイルオブジェクトも含まれます。図形テンプレートはスタイルオブジェクトや表示・編集パラメータサブオブジェクト、下で説明しているようにデータベーステーブルを含んでいます。スタイルオブジェクトとスタイル割り当てテーブルがすでに含まれていますので、テンプレートから作成された新規オブジェクトに要素を追加し、テンプレートが作られたオブジェクトのスタイルを使う属性を与えると、新規要素には自動的にそれらのスタイルが割り当てられます。

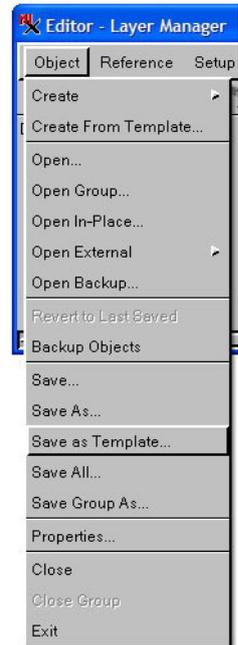
データベース構造の保持とは、単純に全てのテーブルをコピーすることを意味するわけではありません。図形テンプレートには要素がないため、要素に直接アタッチされるテーブルはレコードを持っていません。これらのテーブルは全てのフィールドと、テンプレートを作成したオ

ブジェクトの中の対応するテーブルとの関係を持っています。全てのレコードがコピーされるテーブルは、アタッチメントタイプが「リレート」のテーブルのみです。

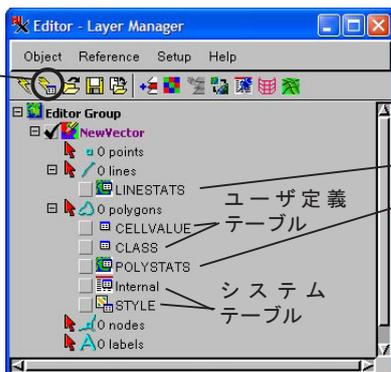
テンプレートから作成されたオブジェクトの中で再利用したい値で直接アタッチされたテーブルがある場合、「リレートのみ」のテーブルを使い、そのフィールドに対して値をピックアップできるリストを提供するようなデータベース制限を設定します。詳しくはテクニカルガイドの“データベースフィールド値の制限 (Constraining Database Field Values)”をご覧ください。

標準属性テーブルが元のオブジェクトに存在する場合、それらは新規オブジェクトに対しても作成されますが、レコードはありません。新規オブジェクトの作成にテンプレートが使われた後、要素が追加されると、レコードが自動的に追加され、標準属性テーブルのレコードが増えます。要素IDテーブル(ある場合)や内部システムテーブルもレコードが自動的に追加されます。スタイル割り当てテーブルは「リレートのみ」のアタッチメントタイプであり、テンプレートの中のこれらのテーブルにはレコードがあり、上述のように自動スタイル割り当てが可能です。テーブルのアタッチメントタイプに関するさらに詳しい情報は、クイックガイドの“データベースアタッチメントタイプ (Database Attachment Types)”をご覧ください。

テンプレートオブジェクトを作成するには、エディタで既存のオブジェクト(Object)] > [テンプレートとして別名保存 (Save As Template)] (右図) を選択します。この方法でテンプレートを作成すると、エディタの中にロードされたまま残るオブジェクトは元のオブジェクトになりま



テンプレートからオブジェクトを作成



要素がないことに注意してください

自動で出来るテーブル

ユーザ定義テーブル

システムテーブル

Database Table
Name: RailroadL
Description: attributes from VMap0 (2000)
Attachment: One record per element
Records: 0
Fields: 12

Database Table
Name: Status
Description: Status of object.
Attachment: Related only
Records: 17
Fields: 3

テンプレートのオブジェクトテーブル内容を表示しているデータチップ。左上は、オリジナルオブジェクトの中の要素に直接アタッチされたテーブルに対するデータチップです。テンプレートから作成された新規オブジェクトにはレコードがありませんが、全てのフィールドが定義されています。右上のデータチップは「リレートのみ」のテーブルで、全てのフィールドが定義されていてオリジナルテーブルと同じ数のレコードを持っています。

テンプレートから作成された新規ベクタには要素がなく、オリジナルオブジェクトと同じデータベース構造を持っています。

す。テンプレートを使って新規オブジェクトを作成するには、[テンプレートからオブジェクトを作成 (Create Object from Template)] アイコン (1 ページ目の左下図) をクリックするか、〈エディタレイヤマネージャ〉のメニューから [オブジェクト (Object)] > [テンプレートから作成 (Create from Template)] を選択します。作成したテンプレートオブジェクトを選択するか、あるいは既存の参照オブジェクトを選択して、それから要素やセル値のないオブジェクトを作るかを選ぶことができます。後者を選んだ場合、要素やセル値が取り除かれ、テンプレートを保存する時のようにデータベースが調整されますが、テンプレートは保存されません。データを含むオブジェクトを使って要素やセル値を持たない新規オブジェクトを作成する場合、参照オブジェクトに対してなされたどんな変更も、それから作成される次の新規オブジェクトに反映されます。また、変更を反映する新規テンプレートを作成することもできます。

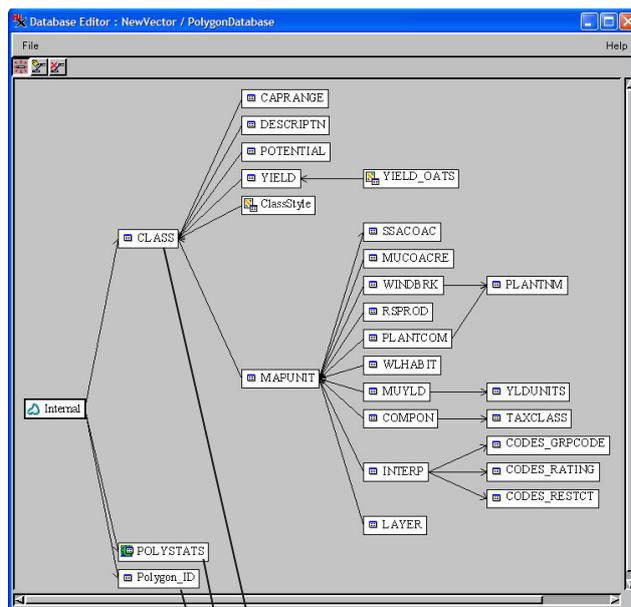
[テンプレートからオブジェクトを作成] を選択したら、新規オブジェクトに対して希望するように要素を追加して属性を割り当ててください。テンプレートの再利用を考えて、テンプレートの上に新規オブジェクトを上書きすることはできないようになっています。

例えば Vector Template/Forestry Project のように、テンプレートの格納用のみ使用するディレクトリを作成したい場合もあるかもしれません。そうしておく、同じタイプの新規オブジェクトを作成したい時にどこに行けばよいのか、すぐに分かります。テンプレートオブジェクトに特別なアイコンはありません。テンプレートオブジェクトは元のオブジェクト (ラスタ、ベクタ、CAD) と同じオブジェクトタイプであり、単に要素やセル値のな

いオブジェクトだからです。

あなたの業務に使える入手可能なテンプレートがすでにあるかもしれません。誰かに頼んで画像判読のようなプロジェクトをしてもらう場合、どんな形でデータを作ってもらうか、どんな属性を持たせるかをテンプレートを提供して決めるようになるかもしれません。

表示しているテーブルの関係図はオリジナルオブジェクトと、それが保存されたテンプレートとで完全に同じです。このデータベースの中のほとんどのテーブルは、[リレートのみ] のアタッチメントタイプを持っており、全てのレコードがテンプレートの中に存在します。要素に直接アタッチされた3つのテーブルは、テンプレートオブジェクトの中にはレコードを持っていません。



これらの3つのテーブルは、テンプレートの中にレコードを持っていません。

